



事業報告書

「ぼくたちの地球を守ろう」

第17回小学生・中学生作文コンクール

第11回小学生・中学生ポスターコンクール

第14回アジアこども会議

NPO法人 地球こどもクラブ

2007年度主催事業
「ぼくたちの地球を守ろう」作文・ポスターコンクール
運営組織図

【主 催】

NPO法人地球こどもクラブ

【後 援】

外務省、文部科学省、環境省、東京都、NHK、フジテレビ、テレビ朝日
朝日学生新聞社

【助 成】

財団法人長岡育英会

【協 力】

全日空、PADI ジャパン、コスモ石油

中 国 : 北京市教育委員会 对外合作交流処
韓 国 : ソウル特別市
タ イ : Ministry of Education
シンガポール : シンガポール大使館 / Ministry of Education
モンゴル : Education Department of city UB
ベトナム : Ho Chi Minh City Youth Union
カンボジア : 教育・青少年・スポーツ省情報・ASEAN 局
マレーシア : Secretary General Malaysian National Commission for UNESCO

【協 賛】

東京電力(株)、(株)キホー、三井物産(株)、(株)日立製作所、(株)東芝、東北電力(株)
中部電力(株)、三菱重工業(株)、関西電力(株)、清水建設(株)、日本原燃(株)、
ユナイテッド・メディア(株)、北海道電力(株)、石油資源開発(株)、四国電力(株)
(株)アルビオン、電源開発(株)、アオイ産業(株)、(株)井田企画、(株)朝日クリエイティブ

「ぼくたちの地球を守ろう」

第17回小学生・中学生作文コンクール 第11回小学生・中学生ポスターコンクール

◆テーマ : 「ぼくたちの地球を守ろう」地球が危ない！今、私たちにできること
どうしたら美しい地球を守っていくことができるか？
「地球環境」をテーマにしたものであれば、題材内容は自由
日ごろの生活の中で体験したこと、考えたこと、実行していることなどを作文やポスターにする

◆応募資格 : 小学4年生～中学3年生（2007年4月時点）

（2007年度募集ポスター）

◆募集国 : 日本・中国・韓国・タイ・シンガポール・ベトナム
カンボジア・マレーシア・モンゴル 計9ヶ国

◆募集期間 : 2007年1月～
2007年5月10日消印有効 《国内》
2007年4月15日消印有効 《海外》



◆募集方法 : 全国小・中学校より1,300校選定
全国市町村環境局・図書館より400ヶ所選定
地方紙及びマスコミ約100社に掲載依頼

◆審査委員 : 審査委員長 江森 陽弘（ジャーナリスト・元朝日新聞編集委員）
審査委員 出江 俊夫（環境省環境教育推進室長）
森 ミドリ（音楽家）
アグネス・チャン（歌手）
岡崎 友紀（女優）
内海 桂子（漫才協会会長）
岡田 幹治（元朝日新聞論説委員）

◆作品応募数

国 名	作 文			ポスター			合 計
	小学生	中学生	全体	小学生	中学生	全体	
日本	85	444	529	162	221	383	912
中国			0			6	6
韓国			118			158	276
タイ			19			120	139
シンガポール			237			190	427
ベトナム			0			54	54
カンボジア			0			39	39
マレーシア			291			246	537
モンゴル			28			29	57
合 計			1,222			1,225	2,447

第 17 回小学生・中学生作文コンクール
第 11 回小学生・中学生ポスターコンクール
授 賞 式



高円宮憲仁親王妃久子殿下と高円宮賞受賞者

- ◆日 時 : 2007 年 7 月 26 日 (木) 13 時 30 分～15 時 00 分
- ◆会 場 : 霞が関東京會館 (ゴールドスタールーム)
東京都千代田区 3-2-5 霞が関ビル 35 階
- ◆内 容 : 入賞者へ賞状、記念メダル及びスヌーピーのぬいぐるみ授与
- ◆受賞者 : 第 17 回作文コンクール

国 内	12 名	
海 外	3 名	計 15 名

 第 11 回ポスターコンクール

国 内	4 名	
海 外	13 名	計 17 名

 合計 32 名

◆プログラム

高円宮憲仁親王妃久子殿下ご入場

主催者代表挨拶 <地球こどもクラブ 長岡喜法会長>

高円宮憲仁親王妃久子殿下お言葉

環境省田村義雄事務次官ご挨拶

授賞式

高円宮賞	作文 2 名・ポスター 2 名	高円宮憲仁親王妃久子殿下より表彰
環境大臣賞	作文 2 名・ポスター 2 名	環境省田村義雄事務次官より表彰
優秀賞	作文 2 名・ポスター 2 名	長岡喜法会長より表彰
地球こどもクラブ賞	作文 7 名・ポスター 5 名	中江利忠東京大会実行委員長より表彰
審査委員長賞	作文 2 名・ポスター 2 名	江森陽弘審査委員長より表彰
※東京電力賞	ポスター 2 名	東京電力株式会社 増田祐治総務部長より表彰
※コスモ石油賞	ポスター 2 名	コスモ石油株式会社 鵜田穂積 CSR・環境室長より表彰

江森陽弘審査委員長総評

記念撮影

高円宮憲仁親王妃久子殿下ご退席

※企業賞を新設し、本年度は東京電力賞とコスモ石油賞

第17回小学生・中学生作文コンクール受賞者

高円宮賞

小学生部門	日本	吉野 桃代	『きれいな海を願って』 千葉県 夷隅郡御宿町立御宿小学校5年生
中学生部門	日本	河合 寿也	『「自然を思う」ことから始めよう』 新潟県 燕市立吉田中学校1年生

環境大臣賞

小学生部門	日本	池田 茉奈美	『命をつつみこんでいるかんきょう』 福岡県 大野城市立大利小学校4年生
中学生部門	日本	岡部 達美	『よみがえれ、エコ交通網』 東京都 東横学園中学校2年生

優秀賞

小学生部門	日本	大坪 礼奈	『「自然」の気持ち』 東京都 明星小学校6年生
中学生部門	日本	高橋 佳也	『地球は何を感じているのか』 静岡県 西遠女子学園2年生

地球こどもクラブ賞

小学生部門	日本	北岡 亮	『地球のきき時計』 福岡県 海星女子学院附属小学校4年生
小学生部門	日本	正田 真悟	『ぼくのホタルが飛び立つ日』 茨城県 つくば市立桜南小学校5年生
小学生部門	タイ	ゲンラミット・タンサモン	『美しい地球を守る』タ ファボン小学校5年生
小学生部門	シンガポール	ヨン・ツイ・ウェン・クリスティン	『地球を救おう』 ラッフルズ・ガールズ小学校6年生
中学生部門	日本	成田 佳奈香	『私の夢、それは骨董家電製品』 東京都 白百合学園中学校1年生
中学生部門	日本	佐藤 綾佳	『地球を守るために私ができること』 宮崎県 延岡市立三川内中学校2年生
中学生部門	モンゴル	M.エンフバト	『人間のために生態環境を守る時代がやってきた』 モンゴル イレードウイ総合第1中学校

審査委員長賞

小学生部門	日本	栗原 万智	『ゴミで救おう！世界の子どもの命』 福岡県 明治学園小学校6年生
中学生部門	日本	崎津 舞香	『もう一つの環境活動』 兵庫県 大坂女学院中学校2年生

第11回小学生・中学生ポスターコンクール受賞者

高円宮賞

小学生部門	日本	よしだ たかき 吉田 剛樹	『ボクたちの進化を地球は喜んでくれるの?』 福岡県 福岡市立和白小学校6年生
中学生部門	タイ	ลักขณา ทัตถะภรณ์ ลักขณา ทัตถะภรณ์	『私たちの地球保護手段』 中学2年生

環境大臣賞

小学生部門	韓国	박진호 パクジンホ	『地球温暖化、北極熊を助けよう!』 小学6年生
中学生部門	マレーシア	Lim Hui リム ヒー	『私たちの地球を守ろう』 中学3年生

優秀賞

小学生部門	モンゴル	Ганзориг ガソルリグ	『私をこのまま見捨てないで!』 モンゲンニ総合学校6年生
中学生部門	日本	ふるはし 彩帆 古橋 彩帆	『江戸の知恵でリサイクル』 三重県 三重中学校2年生

地球こどもクラブ賞

小学生部門	カンボジア	Meat Ponnyan メート ポンニヤン	『環境及び海の自然環境』 カンダム州タマワ アヌット・ブンラニ・フンセン小学校6年生
小学生部門	カンボジア	Win Kantea ウィン クンテアー	『家の周りの環境』 カンダム州タマワ アヌット・ブンラニ・フンセン小学校6年生
小学生部門	ベトナム	Chau Thi Phuong チャウ ティ フアエン チャン	『私の環境』 小学6年生
中学生部門	ベトナム	Phung Binh Cham フアエン ビン チヤム	『水がきれいになりますように』 中学1年生
中学生部門	シンガポール	Chua Juei チュア ジュエイ	『地球を救え』 中学2年生

審査委員長賞

小学生部門	中国	Li Xue Wen リー ツェー ウェン	『木を植える』 小学5年生
中学生部門	マレーシア	Lim Fong Kit リム フォン キット	『私たちの地球を守ろう』 中学3年生

東京電力賞

小学生部門	韓国	Jeon Hyeon Kyun ジェン ヒョン キョン	『ゴミは大切な資源』 小学6年生
中学生部門	日本	こまい あい 駒井 亜衣	『青い地球が好きだから』 三重県 三重中学校2年生

コスモ石油賞

小学生部門	日本	かわごえ みさ 川越 美沙	『地球をきれいにしよう』 東京都 中央区立泰明小学校4年生
中学生部門	中国	Ye Wen Fan イエ ウェン ファン	『私たちの地球がさらにキレイになる』 中学3年生

「ぼくたちの地球を守ろう」 第14回アジアこども会議



会議の前に「地球こどもクラブ讃歌」合唱

- ◆日 時 : 2007年7月26日(木) 15時10分～17時45分
- ◆会 場 : 霞が関東京會館(エメラルドルーム)
東京都千代田区3-2-5 霞が関ビル35階
- ◆会議参加者 : コンクール受賞者
- ◆内 容 : こどもによる会議
環境に関するテーマについてグループごとに話し合い、その成果を発表し、最後に「こどもアジェンダ21」宣言書としてまとめ、環境省田村事務次官に提出
- ◆会議のテーマ : 「あなたがお父さんお母さんになった時、どんな地球であってほしいか？」
「その理想の地球のためにあなたができることは何か？」
- ◆司 会 進 行 : 上智大学 荒川 祐二氏、東京農工大学 石川 世太氏
- ◆プログラム :
高円宮憲仁親王妃久子殿下ご入場
主催者代表挨拶 <地球こどもクラブ 中江利忠東京大会実行委員長>
地球こどもクラブ讃歌合唱 <演奏: チェレスタ 地球こどもクラブ 森ミドリ理事>
特別講演 <コスモ石油株式会社 鵜田穂積CSR・環境室長>
テーマ「植物の二酸化炭素吸収実験」「環境危険ゾーン地球儀」について
基調講演及びディスカッション <上智大学 荒川祐二氏>
テーマ「あなたがお父さんお母さんになった時、どんな地球であってほしいか？」
「その理想の地球のためにあなたができることは何か？」
セヴァン・スズキ伝説のスピーチ上映
各グループ発表
「こどもアジェンダ21」宣言書、とりまとめ及び署名
環境省田村義雄事務次官へ「こどもアジェンダ21」宣言書を子供たちより手渡す
高円宮憲仁親王妃久子殿下ご退席

「ぼくたちの地球を守ろう」 第14回アジアこども会議内容

■特別講演：コスモ石油株式会社 鵜田穂積CSR・環境室長

「植物の二酸化炭素吸収実験」と「環境危険ゾーン地球儀」について



〈植物の二酸化炭素吸収実験〉

植物が二酸化炭素を吸収し、酸素を排出する様子をリアルタイムで体験できる装置。地球温暖化を防ぐために、植物がいかに大切か大事かということを理解し、体験してもらう。

ドームの中に入っている植物に光を当てると、この中の二酸化炭素の量が減り、酸素が増えていく炭酸同化作用、光合成の働きを始める。



〈環境危険ゾーン地球儀〉

地球温暖化の影響で、自然環境に変化や異変が起きている。この問題を危険ゾーンとして一つの地球儀にまとめた。熱帯雨林が徐々に破壊されている所や砂漠化が進行している所などを地球全体に渡ってスポットごとに色分けし、示している。

■基調講演：上智大学 荒川 祐二氏

「1人のチカラは決して小さくない！」
「みんなでちょっと動けば世界が変わる！！」



毎朝6時から、新宿駅東口広場の清掃をしている荒川氏

以下、荒川氏の話（要旨）

「自分が動けば世界が変わる」、あるドキュメンタリー映画からメッセージを受け、「自分にも何かできないか？」と思い、新宿駅東口広場の掃除を始めました。「一緒に掃除してくれる人募集！！」という看板を背負いながら始めた1人での活動は、文句を言われたり、嫌がらせをされたりと、本当に辛い体験もしました。しかし、少しずつ周囲の人々の心を動かし、感謝の言葉をかけてくれる人や手伝ってくれる人が増えてきました。嬉しくてずっと続けていたら、大きな大きな輪が広がりました。ついには40人以上の仲間が増えたのです。たった1人からでもこんなことができるんです。

本日伝えたいことは、直接環境に関係がなくても、例えば「笑顔で一日過ごす」など、自分が続けていると周りも笑顔になり、そのまた周りも笑顔になる。気づいたら自分の人生も笑顔で幸せになっているし、周りの環境も幸せになっているという連鎖、「誰にでもできることを誰にもできないほどすれば、人生が、そして世界が変わる」ということです。1人の力は決して小さくないんです。

理想とする地球は、「みんなが笑顔になれる地球」。そのために自分ができることは、これからもゴミ拾いを続け、世界中に笑顔の輪を広げていくことです。

■ディスカッション 司会進行：上智大学 荒川 祐二氏、東京農工大学 石川 世太氏

テーマ「あなたがお父さんお母さんになった時、どんな地球であってほしいか？」
「その理想の地球のためにあなたができることは何か？」

テーブルごとに5つのグループに分かれ話し合い、テーマについてボード（ポスターコンクールで高円宮賞を受賞したラッパ ヲト・タホーさんの作品が中央にプリントしてある）に一人ずつ思いや考えを記入し、その成果をグループごとに一人ずつ全体に発表しました。最後に「こどもアジェンダ 21」宣言書としてまとめ、代表者が環境省田村事務次官に手渡しました。

各グループには通訳者の他に、※学生スタッフが2人ずつ入り、コーディネーターとして子供たちに笑顔と活気を与えてくれました。

※学生スタッフ：荒川氏、石川氏の思いや考えに賛同し、全国から集まったボランティアの大学生計15名



崎津 舞香（日 本）

私の理想の地球は、世界の人々が全員環境のことを考えながら生活している地球です。そうするためには、ここにいる人達は常に環境のことを考えて、ポイ捨てをしないとか当然と思っているはずなので、その思いを友達みんなに伝えて、みんなで地球を守ろうと誘っていかなければいけないと思います。

リー ツェー ツェン（中 国）

私の理想の地球は、朝起きたらまず周りのゴミを拾います。みんなが有害物質を捨てなければ、地球はきれいになると思います。



ラッパット・タポーン (タイ)

こちらに描いてある絵はこの地球がずっとこのように美しくあるように、自然がずっと続きますようにという風に描いてあり、一つ一つの葉っぱに描かれているのはタイのカオヤイ自然公園やタイの南部とか北部とかすべてタイの自然を描いたものです。この自然がずっと続きますように。私はこの絵が大好きです。この自然を続かせるために私も植物を植えていきたいと思います。心を込めて植物を植えていきたいと思います。

大坪 玲奈 (日本)

私がしたいことはゴミをきちんと捨てることです。そして、ゴミを分別してリサイクルをきちんとすることです。そうすれば毎日すっきりとした気持ちで過ごせると思います。



岡部 達美 (日本)

将来沢山の自然を残すことと森を残すことです。そのために、私が今やれると思うことは、一ヶ月に一度でもいいから花や木などの植物を植えることです。

成田 佳奈香 (日本)

みんながハッピーで幸せになれたらいいなと思いました。そのために、私は毎日家で電気の節電をしようと思います。それで自然の光で家族団らんを楽しみたいと思います。私の家では、朝はリビングが太陽の光で明るいので電気を消しています。その自然の光を使って、周りに溶け込む太陽の光で家族団らんを楽しんでいます。このように自然の力を利用して家族で幸せになりながら電気を節電して地球にも優しくしたいと思います。



M. エンフバト (モンゴル)

私の描いた絵はこちらです。私は自然を大切にしたいという考えで、そのために自然に有害物を捨てないでとみんなに伝えたいです。

佐藤 綾桂 (日 本)

私は自然が溢れる地球がいいなと思いました。そのためには、ゴミに気づいてゴミをどうするか考えて実行するとゴミが減ると思いました。



ヨン・ツイ・ウェン・クリスティン (シンガポール)

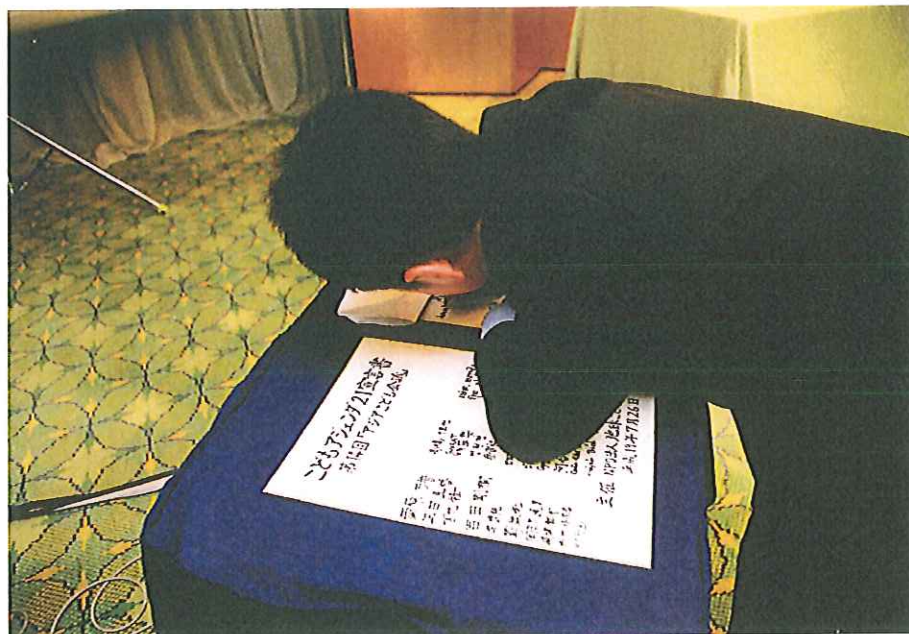
地球を守るためには、地球の温暖化を防ぐことがとても大切なことだと私は思っています。木を増やすこと。それから使うだけの電気を使うこと。それから3Rというのがあるんですけど、リデュース・リサイクル・リユース、減らすこと・リサイクルすること・再使用すること。それを実行していきたいと思っています。

高橋 佳也 (日 本)

動物や植物などいろいろな生き物がたくさんいる地球になってほしいです。そのためにどんなものでも使いすぎず、地球に優しい物を使いたいと思います。

■「こどもアジェンダ21」宣言書

【私の笑顔はみんなの笑顔。みんなの笑顔は地球の笑顔。
みんなの笑顔で地球を救おう！】



代表として吉田剛樹くん（日本）が、「こどもアジェンダ21」を記入



代表として河合寿也くん（日本）が、環境省田村義雄事務次官に宣言書を提出

懇 親 会



- ◆日 時 : 2007年7月26日(木) 18時00分～19時00分
- ◆会 場 : 霞が関東京會館 (シルバースタールーム)
東京都千代田区3-2-5 霞が関ビル35階
- ◆プログラム : 高円宮憲仁親王妃久子殿下ご入場
主催者代表挨拶 <地球こどもクラブ 田中豊蔵常務理事>
乾杯の音頭 <地球こどもクラブ 内海桂子理事>
ご歓談
高円宮賞作文朗読 (小学生 吉野桃代/中学生 河合寿也)
フラダンス (カトーエミイ フラダンススクールの子供たち)
閉会の辞 <地球こどもクラブ 井田敏夫専務理事>
高円宮憲仁親王妃久子殿下ご退席



カトーエミイ先生とフラスタジオ
(ケ・クラ・オ・アライニ) の皆さんによ
り、美しい自然や神様に感謝して踊
るハワイの踊り“フラ”を披露して
頂く。

海洋環境保全学習 (千葉県勝浦市)



小野田工務店さんの保養所「リフレス鶴原」にて、夕食のバーベQと朝食及び、男性は宿泊のお世話になりました。女性は、近くにありますが民宿「勘五郎」に宿泊しました。

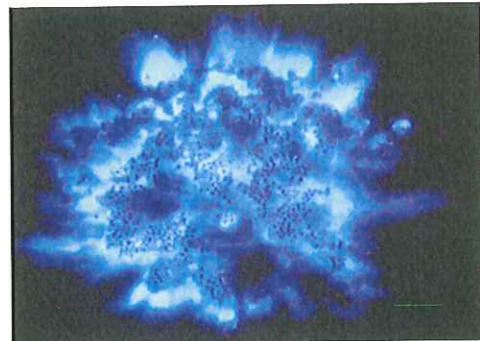
■レクチャー たてやま・海辺の鑑定団 三瓶氏

「海からの贈り物」と「海ほたる」



三瓶氏と海からの漂着物

海岸には、生態系豊かな様々な貝殻や、潮流などによって運ばれる漂着物が打ちあがります。それらの由来や海の生物の話をしながら、貝殻や漂着物を子供たちに触れさせてくれました。貝殻は耳にあてると、波音が微かに聞こえます。



海ほたる

三瓶氏が飼育している「海ほたる」を子供たちの手のひらの上にのせて頂きました。辺りを暗くし、青くぼんやりと光るその姿は、子供たちを魅了しました。実体は、海に棲息するミジンコ的一种で、陸のホタルと同じ原理で発光します。

◆日 時 : 2007年7月24日(火)

◆参加者 : 〈地球こどもクラブ〉

国内入賞者 12名

海外引率者 10名

海外入賞者 16名

通訳者 8名

他 8名

海洋環境保全学習 (千葉県鴨川市)

■海岸清掃

鴨川市前原海岸にて



ゴミ拾い終了後、「さかなクン」と一緒に記念撮影

地元小学校の子供たちを交え、2つのグループに分かれてゴミ拾いをしました。短時間でたくさんゴミが拾えました。海を見たことのない国の子供たちは、海岸に落ちている貝殻などの海からの贈り物に感動していました。

共催の「ウミガメ倶楽部」より「地球こどもクラブ」の子供たちへプレゼント（扇子）を頂きました。

「ウミガメ倶楽部」の椎野会長からは、『本日のゴミ拾いにより、海岸へ産卵に上がってウミガメも大変喜んでいるのでは？このような一人一人の行動や経験を一人が10人に話したら、さらに大きな輪につながっていけるのです。海岸のみならず、我々の環境をよりよくするためにみんなで頑張っていきましょう！』というお言葉を頂きました。

◆日時 : 2007年7月25日(水)

◆共催 : 地球こどもクラブ、ウミガメ倶楽部

◆参加者 : 〈地球こどもクラブ〉

国内入賞者	12名	海外入賞者	16名
海外引率者	10名	通訳者	8名
			他9名

〈ウミガメ倶楽部〉

鴨川小学校・東条小学校・江見小学校の子供たち 約50名

■さかなクン講演会

鴨川市民会館にて

「学校では教えてくれない海のこと、魚のこと、環境のこと」



「さかなクン」とクイズに答えたい子供たち

子供たちに絶大な人気のおさかな博士、「さかなクン」を講師に招きました。

誠実な人柄で、瞬時に描くイラストや分かりやすいお話しに子供たちは終始、目を輝かせていました。

以下、「さかなクン」の話（要旨）

ゴミには、自然に還るもの（木・貝殻・海草など）と還らないもの（カン・発泡スチロール・プラスチックなど）があります。海草や貝殻などを海に還しても大丈夫なのは、海にはバクテリアがたくさん暮らしています。このバクテリアが海の中で害のないものに変えてくれるからです。

海に捨てられたゴミを食べてしまった大きな魚やウミガメなどは、死んでしまうこともあります。こういう大きな魚たちがいなくなってしまうと海の中の生態系がくずれてしまいます。

海をきれいに保つには山や森、林といった陸上の自然も大切にしなければいけません。海には陸上の栄養がたくさん流れ込んでくるからです。山や森、陸上が汚れていると川が汚れ、海も汚れてしまうのです。実は、海も山も川も全部つながっているということを知ってもらいたかったのです。

海にいる魚をイラストで紹介していきます。魚の名前が分かった方は元気よく手を挙げてくださいね。これは「アジ」です。「アジ」の背中は何色でしょう？海面の色と同じ青色です。「かもめ」などの空から狙う天敵に分かりやすくさせるためです。お腹は何色でしょう？黄色です。大きな魚が海の下から「アジ」を見た時にお日様の色と間違えて、気付かないようにするためです。

以下、10匹の魚のイラストを描き、それぞれどんな魚か？子供たちに当てさせ、描いた魚の特徴などの話に加え、クイズに当たった子供にイラスト（サイン入り）をプレゼントしてくれました。

◆日 時 : 2007年7月25日（水）

◆共 催 : 地球こどもクラブ、ウミガメ倶楽部

◆参加者 : 〈地球こどもクラブ〉

国内入賞者	12名	海外入賞者	16名
海外引率者	10名	通訳者	8名
		他	9名

〈ウミガメ倶楽部〉

鴨川小学校・東条小学校・江見小学校の子供たち 約50名

■鴨川シーワールド 視察



ダイナミックなシャチのショーをはじめ、ペンギンやアザラシなど、見たことのない海の動物たちを実際に見ることができて、海外の子供たちは特に感激していました。

見えない海の中では、こんなにたくさんの種類の魚や動物たちが生活をしています。これらの命や生活を守るために、子供たちは日々環境についてもっともっと深く考えてくれることでしょう。

◆日 時 : 2007年7月25日(水)

◆参加者 : 〈地球こどもクラブ〉

国内入賞者	12名	海外入賞者	16名
海外引率者	10名	通訳者	8名
		他	10名

出席者

高円宮憲仁親王妃久子殿下 コンクール名誉総裁

田村 義雄	環境省 事務次官
尾崎 泰之	環境省総合環境政策局 環境教育推進室室長補佐
篠田 篤	環境省総合環境政策局 環境教育推進室第1係長
長岡 喜法	地球こどもクラブ会長 財団法人長岡育英会理事長
中江 利忠	地球こどもクラブ副会長 元朝日新聞社 社長
井田 敏夫	地球こどもクラブ専務理事 株式会社井田企画 社長
田中 豊蔵	地球こどもクラブ常務理事 元朝日新聞社 論説主幹
江森 陽弘	地球こどもクラブ常務理事（審査委員長） 元朝日新聞社 編集委員
森 ミドリ	地球こどもクラブ理事（審査委員） 音楽家
岡崎 友紀	地球こどもクラブ理事（審査委員） 女優
内海 桂子	地球こどもクラブ理事（審査委員） 社団法人漫才協会 名誉会長
岡田 幹治	地球こどもクラブ理事（審査委員） 元朝日新聞社 論説委員
由紀 さおり	地球こどもクラブ理事 歌手・女優

【協賛企業】

増田 祐治	東京電力株式会社 総務部長
大江 英男	三井物産株式会社 CSR推進部地球環境室次長
鍋田 穂積	コスモ石油株式会社 CSR環境室長
松永 秋男	ユナイテッド・メディア株式会社 代表取締役
中村 浩子	ユナイテッド・メディア株式会社 マーケティング・マネージャー

【官庁関係】

林 伸一郎	外務省 アジア大洋州局中国課 課長補佐
市原 一宏	外務省 アジア大洋州局南東アジア第一課 外務事務官
裴 優昌	駐日大韓民国大使館 参事官（教育文化）
孫 永剛	駐日中華人民共和国大使館 友好交流部二等書記官
プー・ツィル・アッ	在日カンボジア王国大使館 特命全権大使
アハマト・ロジアン・アブドゥル・ガニ	在日マレーシア大使館 参事官

【その他】

木住野 福寿 みずほ銀行日本橋支店 支店長
 フラストスタジオ（ケ・クラ・オ・アウリオラニ） カトーエミイ先生他 19名

国内入賞者	16名	海外入賞者	16名
海外引率者	8名	海外教諭	3名
通訳者	8名	国内教諭	8名
入賞者家族	20名	マスコミ関係者	若干名